

# エコドライブ活動の目的・役割、 優秀取組事例、実践方法について

2025年12月18日  
グリーン経営業務室 参事  
熊井 大

# 目的・役割



公益財団法人

交通エコロジー・モビリティ財団

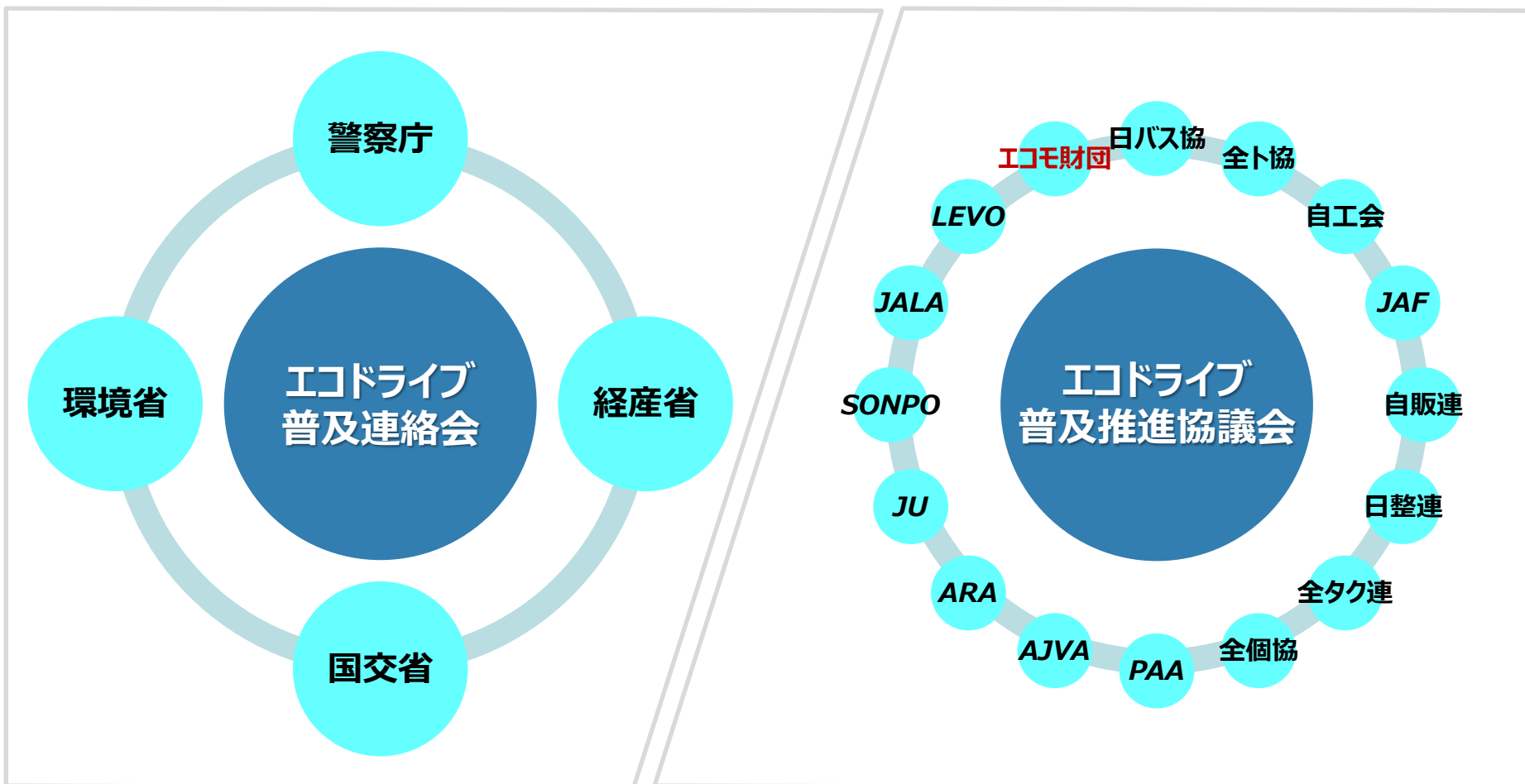
Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation

# SDGsは企業に求められる経営姿勢 #13気候変動対策

Sustainable Development Goals (2030年までに達成すべき持続可能な開発目標)



# 日本のエコドライブは官民一体で普及推進



**エコドライブ10のすすめ**  
**毎年11月はエコドライブ推進月間**



2020年1月27日 警察庁、国土交通省、環境省

エコドライブとは、燃料消費量やCO<sub>2</sub>排出量を減らし、地球温暖化防止につなげる「運転技術」や「心」かけです。また、エコドライブは、交通事故の削減につながります。燃料消費量が少ない運転は、お財布にやさしいだけでなく、同乗者が安心できる安全な運転でもあります。心にゆとりをもつことで、時間にゆとりをもつて走ること、これもまた大切なエコドライブの心がけです。エコドライブは、誰にも今すぐ始められることができるアクションです。小さな意識を習慣にすることで、あなたの運転がよくなります。きっと社会もよくなります。できるところから、はじめてみましょう。エコドライブ

自分の車の燃費を把握することを習慣にしましょう。日々の燃費を把握すると、自分のエコドライブ効果が実感できます。車に装備されている燃費計・エコドライブナビゲーション・インターネットでの燃費管理などのエコドライブ支援機能を使うと便利です。

発進するときは、穏やかにアクセルを踏んで発進しましょう(最初の5秒で、時速20km程度が目安です)。日々の運転において、やさしい発進を心がけるだけで、10%程度燃費が改善します。つまり、穏やかな発進は、安全運転にもつながります。

走行中は、一定の速度で走ることを心がけましょう。車間距離が短くなると、ムダな加速・減速の機会が多くなり、市街地では2%程度、郊外では6%程度も燃費が悪化します。交通状況に応じて速度変化の少ない運転を心がけましょう。

信号が変わるなど停止することがわかったら、早めにアクセルから足を離しましょう。そうするとエンジンブレーキが作動し、2%程度燃費が改善します。また、減速するときや坂道を下るときにもエンジンブレーキを活用しましょう。

車のエアコン(A/C)は車内を冷却・除湿する機能です。夏場のみ必要なときは、エアコンスイッチをOFFにしましょう。たとえば、車内の温度設定が外気と同じ25℃であっても、エアコンスイッチをONにしたままだと12%程度燃費が悪化します。また、冷却が必要なときでも、車内を冷やしすぎないようにしましょう。

持ち合わせや荷物の積み下ろしなどによる駐車場の際は、アイドリングはやめましょう<sup>a1</sup>。10分間のアイドリング(エアコンOFFの場合)で130cc程度の燃料を消費します。また、現在の乗用車では基本的に暖機運転は不要です<sup>a2</sup>。エンジンをかけたらずぐに出発しましょう。

出かける前に、渋滞・交通規制などの道路交通情報や、地図・カーナビなどを活用して、行き先やルートをおらかじめ確認しましょう。たとえば、1時間のドライブで道に迷い、10分間余計に走行すると17%程度燃料消費量が増加します。さらに、出発後も道路交通情報をチェックして渋滞を避ければ燃費と時間の節約になります。

タイヤの空気圧チェックを習慣づけましょう※3。タイヤの空気圧が適正値より不足すると、市街地で2%程度、郊外で4%程度燃費が悪化します※4。また、エンジンオイル・オイルフィルター・エアクリ・エレメントなどの定期的な交換によっても燃費が改善します。

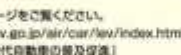
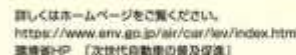
運ぶ必要のない荷物は車からおろしましょう。車の燃費は、荷物の重さに大きく影響されます。たとえば、100kgの荷物を載せて走ると、3%程度も燃費が悪化します。また、車の燃費は、空気抵抗にも敏感です。キーキャリアなどの外装品は、使用しないときには外しましょう。

迷惑駐車をやめましょう。交差点付近などの交通の妨げになる場所での駐車は、近所をもたらしす。迷惑駐車は、他の車の燃費を悪化させるばかりか、交通事故の原因にもなります。迷惑駐車のない道路では、平均速度が向上し、燃費の悪化を防ぎま

エコドライブ普及推進協議会HP



電気自動車、ハイブリッド車、プラグインハイブリッド車、燃料電池自動車といった次世代のエコカーはもちろん、従来のエンジン車でハイブリッド車並みの低燃費を実現したエコカーもあります。環境にやさしいエコカーでエコドライブしてみませんか。



答え：モーターをできるだけ活用しましょう。

■発進と加速はモーターの得意分野（ハイブリッド車のみ）  
モーターの力でゆっくり発進し、エンジンが作動したら目的速度までモーターの力も活かしてゆっくり加速。その後はアクセルを緩めてできるだけモーターのみで走行することで燃費が良くなります。

### ■ブレーキは発進のチャンス

減速時に早めにアクセルを離してやさしくブレーキを踏み、長い距離をかけてゆっくり停止しましょう。やさしくブレーキを踏むとモーターで発電した電力がバッテリーに充電されます。次の発進・加速時に再利用するので燃費が良くなります。



ハイブリッド車のエンジンの稼働回  
 (できるだけエンジンがわからない運転をしましょう)

様々なエコドライブ支援ツールを利用することで簡単にエコドライブに取り組めます。

①エコドライブランプ<sup>®</sup>を点灯するように運転しましょう。アクセルをふんわり踏んで運転することになり、燃費が良くなります。



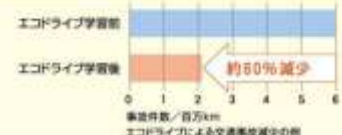
本邦に於ける

②エコドライブスイッチ<sup>®</sup>をONにしましょう。車の制動が変わって、ゆっくり加速しやすくなり、燃費が良くなります。



主として、この本は、

ゆっくり発進、ゆっくり停止、十分に車間距離をとるなどエコドライブを心がけることで運転にゆとりが生まれます。これにより交通事故が約60%減少したという報告もあります。エコドライブでエコだけでなく安全運転にもなって一石二鳥ですね。

[illegible]

# エコドライブ10のすすめ

2020年1月27日 警察庁、国土交通省、環境省

【新】

1. 自分の燃費を把握しよう
2. ふんわりアクセル「eスタート」
3. 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転
4. 減速時は早めにアクセルを離そう
5. エアコンの使用は適切に
6. ムダなアイドリングはやめよう
7. 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう
8. タイヤの空気圧から始める点検・整備
9. 不要な荷物はおろそう
10. 走行の妨げとなる駐車はやめよう

## まずは燃費の記録

燃費の変化で運転を振返る

PDCAで燃費を改善し続ける

## 車間を開けると心がひらく

視界がひらける

情報量が増える

多い情報が処理できる

安心して心がひらく

環境意識が優しくさせる



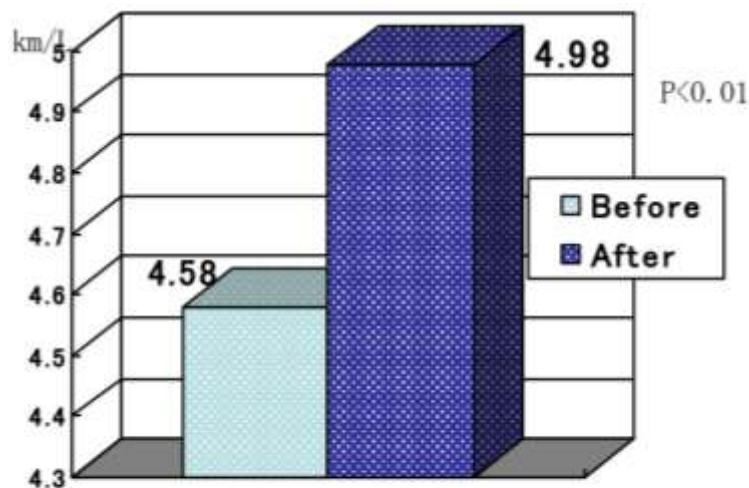
# エコドライブ活動による燃費改善と交通事故低減

(間地寛・春日伸予・石太郎・大聖泰弘)

## エコドライブ活動：事業所でエコドライブを推進する活動

燃費 +8.7%

事故 ▲51%



Average fuel consumption for "before and after eco-drive activities"

Fig. 2 Improved fuel consumption

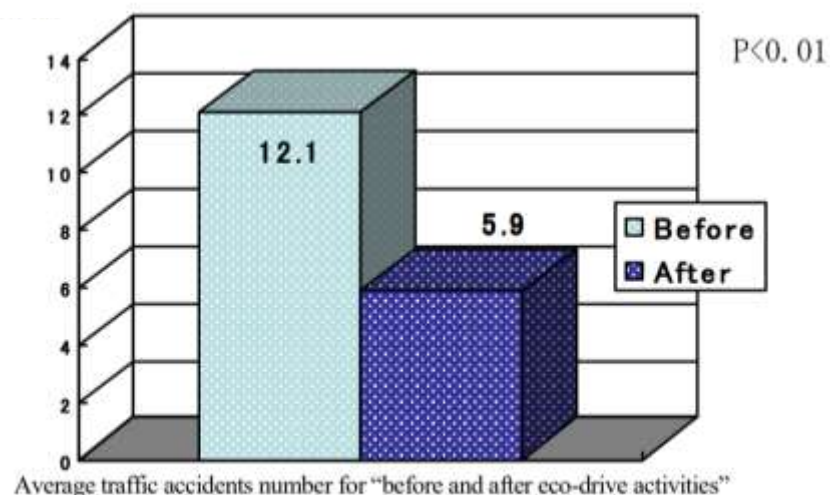
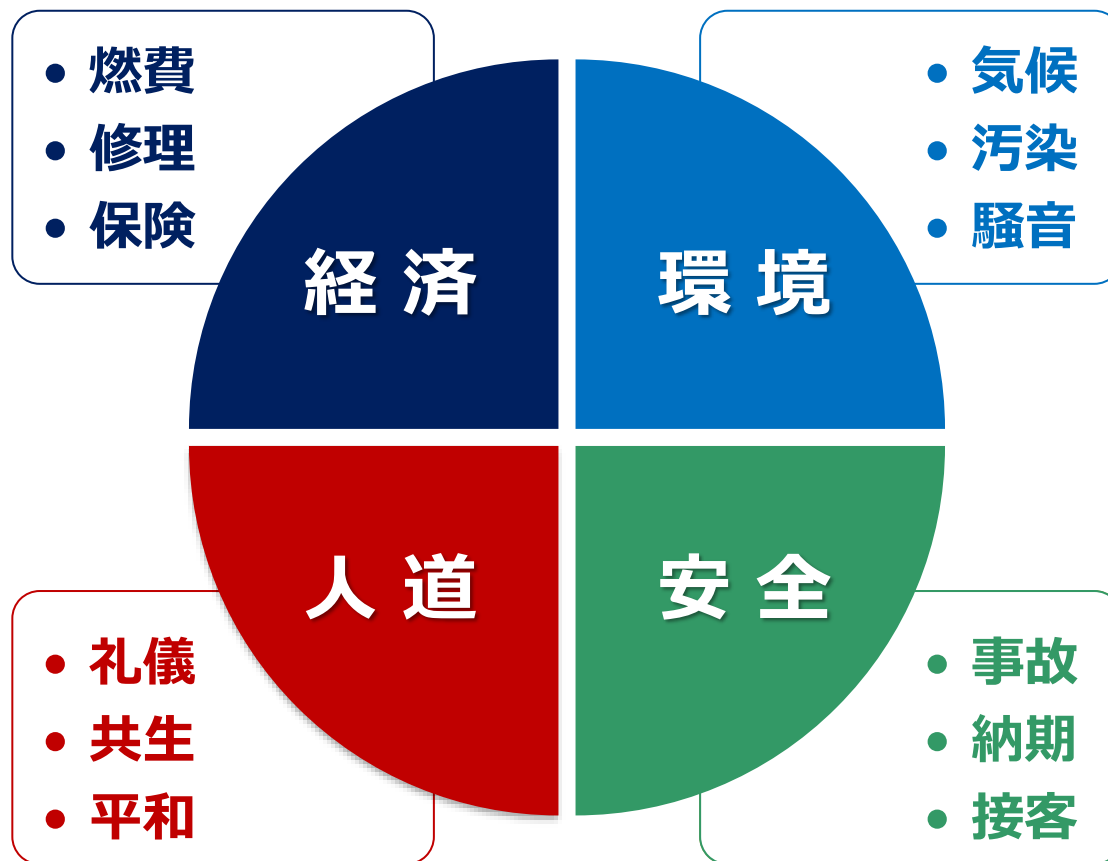


Fig. 6 Fluctuation of number of traffic accidents

<http://www.tta-gep.jp/archivePDF/Ronbun-2.pdf>

# エコドライブ活動の目的・役割





# 優秀取組事例



公益財団法人

交通エコロジー・モビリティ財団

Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation

# エコドライブ活動コンクール 公式サイト

2025 年度  
エコドライブ活動コンクール

HOME お知らせ コンクールとは 募集要項 応募の流れ Q&A

●コンクール事務局 ●個人情報 ●お問い合わせ

ログイン

2025 年度  
エコドライブ活動コンクール

2025年度 受賞事業者が決定しました！

国土交通大臣賞  
環境大臣賞  
審査委員長特別賞  
優秀賞・優良賞・認定証

受賞結果はこちらから！

2025.12.01 「2025年度エコドライブ活動コンクール」二次審査結果のフィードバックが公開されました！

お知らせ一覧

**事業部門**  
トラック・バス・タクシーなどの  
運送事業者

東京 〇〇〇  
E 12-34

新規受付は終了しました

**一般部門**  
運送業以外の一般事業者

東京 〇〇〇  
J 56-78

新規受付は終了しました

**支援ビジネス・ユニーク部門**

支援ビジネス・ユニーク部門の  
詳細については  
下記リンクからご確認ください

【募集要項ページへ】

新規受付は終了しました

<https://www.ecodrive-activity-concours.jp/>

# エコドライブ活動コンクール 優秀取組事例集



「環境にやさしい取組みをしている運輸事業者」を  
認証する制度が、グリーン経営認証です。  
国土交通省及び各事業団体の協力を得て、エコモ  
財団が推進しています。



公益財団法人  
交通エコロジー・モビリティ財団

〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号 後楽森ビル10階  
交通環境対策部 TEL:03-5844-6268 FAX:03-5844-6294

2024年度

エコドライブ活動コンクール

## 優秀取組事例集



公益財団法人  
交通エコロジー・モビリティ財団

[https://www.ecomo.or.jp/environment/ecodrive/data/ecodrive-activity-concours-2024jirei\\_pdf.pdf](https://www.ecomo.or.jp/environment/ecodrive/data/ecodrive-activity-concours-2024jirei_pdf.pdf)



公益財団法人  
交通エコロジー・モビリティ財団  
Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation

## メルダスシステムエンジニアリング株式会社

所在地：愛知県名古屋市中区葵1-19-30

業務内容：流通業(小売業)

拠点数：9

従業員数：144名

車両数：52台

活動実績：9年



### ワンチームを目指して取り組むエコドライブ活動

販売会社のため、営業担当者による個人主体の業務が中心となることから、全社員が一つのチームとして活動する機会が少なかった。そのため、**全社員がワンチームとなって一つの目標に向かって成果を出せる活動**がしたいとの気運が高まりエコドライブ活動を開始。  
毎月1回、独自のエコドライブ全社月報を発行、部門・拠点単位での燃費実績や給油実績、エコドライブ実施状況、運転者別での燃費ベスト5などを掲載し、社内イントラネットを用いて周知することで全社員への浸透を図っている。

#### エコドライブ活動の成果

2016年度比

22.2%燃費向上  
事故件数37.5%削減

#### 受賞事業者の声

活動をはじめ9年でこの様な名誉ある賞を頂き大変嬉しく光栄に感じています。  
今後も更なる「環境に優しい企業」を目指し取り組んで参ります。

## エコドライブ活動 主な基本取組

 取組体制の整備	<p><b>全体取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ISO14001の活動として全社でエコドライブに取り組む</li> </ul> <p><b>体制・目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社長がトップ、管理部長が推進責任者となり、ISO委員が実施を行いエコドライブ活動を推進</li> </ul>	<p>社有車両を作成し、3か月に1回の定期点検や、運転前の始業点検などを徹底して行えるよう指導</p>
 教育の実施	<p><b>環境問題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・独自の環境方針カードを全社員が携帯</li> </ul> <p><b>教育資料</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JAFや環境省などの教育資料を使用</li> </ul>	<p>外部講師を招き、年に1回交通安全並びにエコドライブに関する講習会を開催</p>
 燃費管理	<p><b>燃費管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドライバーが給油した際に運転日報へ給油量、給油時の距離、燃費を記入し毎週提出したものを管理部で一括管理</li> </ul>	<p>全社有車の台数における平均燃費の前年比1%向上を目標として設定</p>
 活動成果	<p><b>燃費向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2013年度比で、36.1%燃費が向上(改善したこと5百万円/年のガソリン代を削減)</li> </ul> <p><b>事故管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2016年度比で、事故件数が37.5%減少</li> </ul>	<p>自社ホームページにエコドライブの取組内容を公開</p>
 継続実績と方策	<p><b>活動実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2011年より、燃費向上や交通事故削減を目的にエコドライブ活動を開始</li> <li>・ガソリン車からHV車への切り替えを促進しており、社有車の76.9%がHV車</li> </ul>	<p>安全運転とエコドライブについての連絡メールを月3回配信</p>

## エコドライブ活動 主な応用取組

### 取組体制の整備

評価ポイント

全社一丸となって取り組むエコドライブ活動の組織構成

### 全社員で取り組むエコドライブ活動

全社員が「ワンチーム」となり、一つの目標に向かって取り組むツールとしてエコドライブ活動に注力。

エコドライブ活動において事故減少やコストダウンなど明確な効果を出すため、社長をトップとしたエコドライブ推進組織を設置。

さらに、各拠点にエコドライブ推進担当者を配置することで、全社一丸となって活動を推進。また、エコドライブ活動のサポートとして、安全衛生活動やISO14001の活動などと連動。



エコドライブ推進組織

### 教育の実施

評価ポイント

多くの教育機会を設け社内のエコドライブに関するノウハウを向上させる工夫

### 社外講習を活用しつつ、社員を社内のインストラクターに認定

部門ごとに教育計画を策定し、地球環境に関する社内講習の実施や、自社環境方針カードを全社員が携帯するなど環境面からのエコドライブ教育に注力。

また、社内インストラクターを増員するため、会社として自治体やJAFが主催する「エコドライブ講習会」へ積極的に参加しており、社員のモチベーション維持やエコドライブ技術の向上を目指す工夫を継続的に実施。



エコドライブ講習会

### 教育の実施

評価ポイント

業務で運転しないドライバーも対象とした教育

### Eラーニングを活用した社内のエコドライブ教育

月に1回、運転免許を持っている社員全員を対象に交通安全教育に関するEラーニングを実施。

カリキュラム内にはエコドライブに関する教育も含まれており、エコドライブが交通安全につながる点をわかりやすく啓発することで、会社全体のエコドライブ意識を向上。



Eラーニング

### 継続実績と方策

評価ポイント

部門ごとの燃費を集計しエコドライブの結果を全社員に周知

### 「エコドライブ全社月報」「部門別月報」を毎月発行

部門担当者ごとにエコドライブの実施状況をチェックシートに記入し、部門ISO委員が燃費実績と併せて取りまとめ、その結果を踏まえて上長がコメントを記載。その後、ISO事務局が全部門より集めた「エコドライブ部門別月報」を集計し、「エコドライブ全社月報」にまとめ全社員に展開。

さらに、コラムなども掲載し、エコドライブをより身近に感じられるよう工夫するなど、社員のエコドライブ意識の向上に貢献。



エコドライブ部門別月報

エコドライブ全社月報







## 株式会社日産フィナンシャルサービス

所在地：千葉県千葉市美浜区中瀬2-6-1  
 WBGマリヴウエスト14階  
 業務内容：金融・保険業  
 拠点数：1  
 従業員数：729名  
 車両数：172台  
 活動実績：6年



### テレマティクスを活用した社内外向けのエコドライブ活動

2015年よりエコドライブ活動をスタート。継続的に活動を進め、テレマティクスを活用した取組の成果に着目。エコドライブの習慣化を目的としたテレマティクスの活用を積極的に推進している。

また、毎年開催しているカーリース顧客向け「エコ&セーフティドライブコンテスト」では「**テレマティクス活用部門**」を新設。社内だけでなく、社外へもテレマティクスを活用したエコドライブ活動を推奨する活動も行っている。

### エコドライブ活動の成果

2015年度比  
**16.6%燃費向上**  
 (ガソリン車2000cc以下)  
**85.3%削減**  
 (すべての事故)

### 受賞事業者の声

環境大臣賞の受賞は大変光栄な事であると同時に、身が引き締まる思いであります。

日産グループの企業として「ZERO EMISSION」「ZERO FATALITY」の実現に貢献できるよう、この取り組みを社員一丸となり、さらに推進し広くお客様に普及させていきたいと考えております。

## エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	全体取組	行動規範にて「環境安全・交通安全」を明記しイントラネットで全社員に周知
	体制・目標 点検・整備	・事故率、燃費を年度目標に設定し、社内に周知。結果は各部門会議などで全社に共有 ・「社用車整備ガイドライン」にて点検・整備の方針を明記
教育の実施	環境問題	年に1度、全社員を対象とした、行動規範研修を行い、理解度測定を実施
	教育資料 教育実施	・エコドライブシナリオの講義資料を活用。さらに「個別」「目的別」等に分け効率的な教育を実施 ・テレマティクスデータを基に、OJT、Off-JT、自己啓発を軸に教育を実施
燃費管理	燃費管理	燃費情報は、社用車別、部門別、車種別など幅広く認識し全社に公開
	燃費目標	・2015年度比で10%の燃費改善を目標に明記
活動成果	燃費向上	・2015年度比で16.6%燃費向上(ガソリン車2000cc以下)
	事故管理	・テレマティクスの運転診断と事故・燃費の相関を分析、分かりやすい図表をドライバーの行動改善とその習慣化を促進
活動実績	対外活動	・顧客企業向けのエコドライブ体験試乗や「セーフティドライブコンテスト」の開催
	活動実績	・年度初めに「年度取り組み計画」を提示
継続実績と方策	エコカー等	・エコカー(EV・e-power等・軽自動車)、安全装備搭載車(緊急ブレーキ等)の積極的な導入
	教習工夫	・テレマティクスの運転診断・各種検知データを分析し、組織から個人に焦点をあてた教育の実施

## エコドライブ活動 主な応用取組

### 取組体制の整備

評価ポイント 役員筆頭の推進体制とエコドライブの習慣化へのアプローチ

### 企業一丸となって実施するエコドライブ活動

「業務における事故から社員を守りたい」といった経営方針のもと、加害・被害、人身・物損を問わずすべての事故を対象とした事故削減を目指しており、事故の未然防止のための運転行動としてエコドライブを推進。

全社一丸となってエコドライブ活動を推進するため、役員を筆頭に部長、次長クラスの幹部メンバーで構成されたエコドライブ推進体制を構築。月1回の定例会議では、毎月の走行データや燃費推移を展開するなど、エコドライブの進捗管理を実施。さらに、テレマティクスの点数や事故状況、燃費の推移を部署別に管理、現場のマネジメントに落としこんでいる。これにより現場でもテレマティクスの点数や動画などを共有し話題とする文化ができてきた。



エコドライブ推進体制

### 教育の実施

評価ポイント テレマティクスデータの徹底活用、リモート講習など先進的なエコドライブ活動

### 豊富なデータと経験に基づくドライバー教育

社内教育資料には、安全な運転行動がエコドライブであることを納得してもらう資料を独自に作成。エコドライブでなぜ事故が減るかを具体的に示したほか、テレマティクスから得られる自社の事故動画や危険な運転動画などを教育資料に反映し、社内でも得られた知見を蓄積し活用。

また、継続的な活動でエコドライブが社内に定着しつつあり、総花的な講習会から、新入社員や新任管理職にターゲットを絞った講習会を行っている。さらに、オンラインを活用したリモート講習も実施。場所や時間の制約が少なくなり、受講率が向上。社内で実施したリモート講習の手法を顧客企業へも広めている。



社内講習資料

### 活動成果

評価ポイント 顧客企業へのエコドライブ波及効果のある取組を実施

### 顧客向けコンテストに「テレマティクス活用部門」を新設

カーリース契約の顧客向けに毎年開催している「エコ&セーフティドライブコンテスト」にて、テレマティクス活用部門を新設。顧客企業を巻き込んだ取組でテレマティクス活用を積極的に推進することで、社外にも効果的なエコドライブの取組方法を広めている。

エコドライブの実施度合いをテレマティクス機器によって点数化し、目標設定に利用することを顧客企業に推奨。テレマティクス機器の導入だけに注力するのではなく、効果的な活用方法など、当社で蓄積したノウハウを広く顧客企業へ公開し、顧客のエコドライブ・事故削減を推進している。



テレマティクス活用部門

### 活動成果

評価ポイント エコドライブの習慣化に関する分析とその結果の波及活動

### テレマティクスを活用したエコドライブの論文を発表

今までの活動の成果からエコドライブと事故削減の学術的なアプローチとして、論文「テレマティクスを活用した「エコドライブ+法令順守」の習慣化」を作成。日本交通心理学会にて発表することで、テレマティクスを活用したエコドライブの推進が事故削減に成果をもたらすことを学会会員へ訴えた。

この論文は大手自動車教習所のコラムに取り上げられるなど、更なるエコドライブ普及に向けて影響を与えている。



論文「テレマティクスを活用した「エコドライブ+法令順守」の習慣化」





## DINS関西株式会社 GE事業所

所在地：大阪府西区築港新町1-5-38  
業務内容：廃棄物処理業  
拠点数：1  
従業員数：74名  
車両数：8台  
活動実績：16年



### 質の高い取組をグループ全体に浸透するよう活動

環境保全活動の一環としてエコドライブ活動を開始。具体的な目標値を設定し、車種・使用用途ごとの燃費管理や講習の実施など、質の高いエコドライブ活動を行っている。コロナ禍で講習会等が中止になる中、**社内独自で従業員向け講習を実施**。レベルの高い活動を継続し、現在では社内全体に質の高いエコドライブの取組が波及し始めている。

#### エコドライブ活動の成果

2007年度比

**22.1%燃費向上  
(小型自動車)  
無事故継続  
(すべての事故)**

#### 受賞事業者の声

環境大臣賞という栄誉ある賞を受賞でき、大変光栄です。今回の受賞を機に、今後も従業員一丸となりエコドライブに努めてまいります。

## エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	全体取組	・エコアクション21環境活動を通じ、エコドライブ活動を実施	毎月エコドライブの進捗をまとめ、エコアクション21委員会にて確認、管理
	体制・目標		
教育の実施	点検・整備	・日常点検は車両使用ごとに実施。定期点検は時期・ルールを決めて実施	
	講習問題	・エコアクション21委員会にて環境問題について毎月講義	
燃費管理	教育資料	・使用用途が異なるため、車両特徴ごとに教育資料を分けて教育	
	教育実施		
燃費管理	燃費管理	・記録した燃費データを毎月のエコアクション21委員会にて報告	燃費目標一覧表にて次年度以降、中長期的燃費目標を策定
	燃費目標		
活動成果	燃費向上	・2007年度比で 22.1%燃費向上(小型自動車)	毎年、会社ホームページのエコアクション21環境レポートにてエコドライブ活動に関する情報を掲載
	事故管理	・エコドライブ活動以前より事故件数を管理	
継続実績と方策	対外活動		
	活動実績	・2006年より活動開始	全国参加型の「内閣府エコドライブコンテスト」において最優秀賞や優秀賞を受賞
継続実績と方策	エコカー等	・コネクティッドカーを導入し走行データや燃費などをクラウドで管理	
	独自工夫		

## エコドライブ活動 主な応用取組

### 取組体制の整備

評価ポイント

活動成果などを効率的に水平展開する仕組みを構築

### エコアクション21委員会を起点とした情報共有の仕組みづくり

毎月、各部署のエコアクション21委員が集まる委員会を開催し、燃費結果を含む環境活動の進捗状況を報告。報告内容は部署ごとに実施する内部コミュニケーションで共有され、全従業員に周知できる仕組みが構築されている。

さらに、エコアクション21の活動を通してエコドライブだけでなく、「ガス」「電気」「水」「廃棄物」削減などにも取り組んでいる。全社で取り組むことで、環境活動や環境負荷低減の意識を醸成。エコドライブに取り組む目的の幅が広がり、より従業員に浸透しやすくなった。



エコアクション21委員会

### 教育の実施

評価ポイント

燃費改善につなげる工夫を凝らしたエコドライブ活動

### 車両の使用用途別の講習や独自の教育資料を作成

全従業員に向けて実践的なエコドライブ教育を行うため、一般従業員の他、収集運搬車ドライバー向けのエコドライブ講習も実施。業務内容により運転する目的や車種が異なるため、収集運搬車と一般車では教育内容を分けていることで、より効果的な燃費改善につなげている。

また、社内講習会に加え、堺市環境指導課のエコドライブ講義も受講。近年はコロナ禍により開催されないうえ、社内の担当者が教育資料を作成し従業員向けに講習を実施。活動を推進する社内メンバーの創意工夫により、高いレベルでの取組を続けている。



大型車用・普通車用講習会

### 活動成果

評価ポイント

徹底した燃費把握で取り組むエコドライブ活動

### 細やかな燃費分析や燃費計で取組を活性化

担当部署が満タン法で燃費を算出し、車種毎の燃費推移を管理。目標達成・未達の要因を毎月分析し記録している。

また、ドライバーが常に瞬間燃費と平均燃費を把握できるよう燃費計を活用。車両に燃費計が標準搭載されていない場合は燃費計を後付けし、全車両でアクセルの踏み方による燃費の変化などがすぐに把握できるようにしている。

エコドライブの実践結果を分かりやすくドライバーに伝わるように工夫することで、意識高く活動を実施できる体制を整えている。



燃費計の活用

### 活動成果

評価ポイント

1つの事業所で始めた活動が企業全体に波及

### エコドライブの取組が企業全体の環境活動のレベルアップに貢献

もともと別会社だった4つの事業所が個別の環境活動を行っていたが、近年は徐々に取組内容を統合。その結果、GE事業所が実施していた質の高いエコドライブ活動はDINS関西全体の環境活動のレベルアップに貢献している。

今後はさらなる活動規模拡大に向けて、グループ企業全体で高レベルなエコドライブ活動に取り組むことを目指していく。



グループ体制図



公益財団法人  
交通エコロジー・モビリティ財団  
Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation





## 仲田総業株式会社 川田事業所

所在地：栃木県宇都宮市川田町836-3  
 業務内容：廃棄物処理業  
 拠点数：1  
 従業員数：25名  
 車両数：39台  
 活動実績：13年



### 現場の意見を積極的に活動に取り入れ活動レベルを高める

2009年に取得したグリーン経営認証とエコアクション21をもとに、全社的にエコドライブ活動に取り組んでいる。トップダウンでの制度や仕組みづくりだけでなく、**現場ならではの気づきを取組に活かし**車両ごとに異なる目標を設定するなど、ドライバーの積極的な取組参加を図る。

#### エコドライブ活動の成果

2020年度比  
**6.9%燃費向上**  
**(中型ディーゼル車)**  
**事故件数50.0%削減**  
**(保険適用)**

#### 受賞事業者の声

この度は大変名誉ある「優秀賞」をいただき誠にありがとうございます。エコドライブ活動は経営と現場が一体となり、総力を結集して取組んだことも評価を頂いたものと心より御礼申し上げます。

## エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	全体取組	・グリーン経営認証、エコアクション21に基づきエコドライブ活動を実施	経営層を軸に、現場・関係会社・エコドライブ推進員・事務局にそれぞれ役割を担って推進
	体制・目標		
教育の実施	点検・整備	・タイヤの空気圧や排ガス(黒煙)を定期的にチェック	
	環境問題	・環境行動計画を策定し、全社的にエコドライブ活動に取り組む	毎日の社内安全教育マニュアルの読み合わせによる安全管理
燃費管理	教育資料		
	教育実施	・毎月ドライバー全員が安全運転自己診断書を提出し、心身・健康の把握と管理	
燃費管理	燃費管理	・燃費データはエコドライブ推進員が管理、集計。結果は本社・現場でダブルチェック	グリーン経営認証、エコアクション21に掲げる数値として目標燃費を設定
	燃費目標		
活動成果	燃費向上	・2020年度比6.9%向上(中型ディーゼル車)	エコドライブ活動コンクールへの参加と地元新聞や事業への大型ポスター掲示などで通知
	事故管理	・事故は自社指定の報告書で管理	
継続実績と方策	対外活動		
	活動実績	・2009年より活動開始。同年にグリーン経営認証を取得	3か月単位でエコドライブと安全運転を評価、表彰する取組を実施
	エコカー等	・テレマティクス装備車のドライバーには運行データを活用した教育を実施	
	独自工夫		

## エコドライブ活動 主な応用取組

### 教育の実施

評価ポイント

専門性の高い教育・指導を行う工夫

## 各分野の専門家を講師に招くエコドライブ講習

長年取引をしているエコドライブ活動に関する専門家を招き、定期的に講習会や指導を依頼。自動車販売メーカーやタイヤメーカー、保険会社など様々な分野の専門家からの指導を受けることで、ドライバーだけでなく、管理・担当者も新たな気づきが得られている。

また、複数の分野について講習を受けることでマンネリ化を防げるとともに、エコドライブを楽しむポイントが見つかりやすく、ドライバーの積極的な活動参加につながっている。



講習会風景

### 燃費管理

評価ポイント

運搬重量などを考慮してエコドライブの実施度合いを評価

## 徹底したデータ分析により実現した納得感のある燃費指標

燃費データは運行日報に基づき全車両の走行距離、給油量、運搬重量を毎日PCに入力し管理。さらに、3か月ごとに燃費データを集計し社内連絡表に記載することで、ドライバーを含む全従業員にエコドライブ活動の成果を共有している。

また、各ドライバーのエコドライブの実施度合いは、単純な燃費結果だけで判断せず運搬重量なども考慮した独自の指標で評価。実態に合わせた燃費評価ができるよう工夫することで、ドライバーが納得感を持ってエコドライブ活動に参加できている。



燃費データの揭示

### 活動成果

評価ポイント

現場の意見を取り入れて燃費改善を実現

## 車両の使用用途や車両タイプ別に実施するエコドライブの工夫

日々のエコドライブに加え、車両タイプ別に様々な工夫を取り入れている。普通貨物車両では、運搬用途に廃プラスチック類を増やし積載量を軽減。さらに運行ルートの見直しを行い、エコドライブとの相乗効果により、2020年度比で燃費が41%向上した。

また、短い距離の運転が多く燃費向上が難しい中、現場のドライバーが主導的に対策を考案。加速や減速を丁寧に、アイドリングの時間を減らすなど工夫を重ね、中型貨物車両では7%、大型貨物車両では12%の燃費向上を達成。堅実な取組を続けていくことで、大幅な燃費改善につながった。



燃費管理・分析

### 継続実績と方策

評価ポイント

活動を継続させるための意識醸成の取組

## 朝礼や車両清掃でドライバーのエコドライブ意識をアップ

継続が大切であるという考えから、毎日朝礼にて「エコドライブ10のすずめ」から1標語を唱和。エコドライブの意識付けを行っている。

さらに、ドライバーが安心して運転できるよう、常に自社内で車両整備や清掃を徹底。整備された綺麗な車両と清潔な服装で仕事ができる環境を構築することで、ドライバーのエコドライブの実施度合いが高まった。

小さな取組も着実に実行・継続したことで、エコドライブ意識だけでなく運転行動にも変化をもたらした。



車両清掃の徹底





## エステ株式会社

所在地: 東京都新宿区下落合1-4-10  
業務内容: 日用品メーカー  
拠点数: 9  
従業員数: 953名  
車両数: 111台  
活動実績: 1年



### 2021年の活動開始から短期間でレベルの高いエコドライブ活動を実施

環境に関する取組として「みんなの地球の空気のために」をテーマに脱炭素化・再資源化の取組を推進。その一環としてCO2排出削減を目的にエコドライブ活動を開始。

2021年から活動を開始し**自社で作成した資料や動画などを活用した教育を実施**。今後も活動の趣向を凝らし、更なる燃費改善を目指す。

#### エコドライブ活動の成果

2021年度エコドライブ活動スタート

1.4%燃費向上  
(全車)

無事故継続  
(重大事故)

#### 受賞事業者の声

弊社の取組を「優秀賞」として評価いただき、誠にありがとうございます。今回の受賞は、当社の事業活動において大きな励みとなります。弊社は、気候変動への対応を重要課題と捉えており、今後も安全運転・エコドライブを実践し、環境保全に取り組んでまいります。

## エコドライブ活動 主な基本取組

 取組体制 の整備	全体取組	・環境への取組の一環として、エコドライブ活動を推進	 リース会社の点検整備に加えて従業員による 車庫前後の日常点検を実施
	体制・目標	・営業本部長をトップとしたエコドライブ活動体制を構築	
 教育の実施	環境問題	・社内広報を作成し、環境問題とエコドライブの情報を周知	 座学講習や入社時の実車講習で エコドライブ教育を実施
	教育資料	・独自に教育資料を作成、展開	
 燃費管理	燃費管理	・運転日報と社内システムを活用し燃費を管理	 エコドライブ活動開始時の燃費を基準として、 1年で5%の燃費改善を目指す
	燃費目標		
 活動成果	燃費向上	・2021年度比で1.4%燃費向上(全車)	 事故件数について整理し、安全運転定例会や 環境活動推進委員会にて結果を共有
	事故管理		
 継続実績 と方策	対外活動		 ハイブリッド車に導入し、2022年3月1日現在で95%の導入が完了しており、2021年に比して燃費改善率7.5%を実現しています
	活動実績	・2021年11月より活動開始	
	エコカー等	・安全運転やエコドライブの取組に関して支店ごとに社長賞を授与される	
独自工夫			

## エコドライブ活動 主な応用取組

### 取組体制の整備

評価ポイント

エコドライブに縛られない幅広い環境活動

### CO2排出量の削減を目的とした様々な環境への取組

ESG取り組みに基づき、エコドライブ活動を実施。営業本部本部長をトップに、営業支援グループが中心となってエコドライブ活動に取り組んでいる。  
また、営業車のエコドライブ活動以外にも会社としてのCO2排出削減を目的に、再生エネルギーの導入を推進。

他にも、自動車で行われている貨物輸送を環境負荷の小さい鉄道や船舶の利用へと転換するモーダルシフトの推進など、環境に配慮した取組を積極的に実施。



中長期ESG推進プラン  
[空気をかえようAction 2030]

### 教育の実施

評価ポイント

従業員の運転レベルに合わせた実車講習

### ドライバーへのアンケートを実施し取組を改善

営業車を使用する従業員に対して、年に1度エコドライブに関する座学講習を実施。講習内容についてアンケートを行い、次年度以降の改善に役立てている。  
また、車の運転に慣れていない新入社員が増えていことから、座学のみでなく毎年新入社員に対してドライビングスクールでの実車講習も実施。座学だけでなく実車での講習も行うことで、実地的なエコドライブ教育が可能。



アンケート結果の分析

### 教育の実施

評価ポイント

教育資料を自社内で作成することで管理者側もレベルアップ

### 自社作成資料や動画で行うドライバー教育

自社でセーフティ&エコドライブNewsという独自資料を月に1度作成し、発行。エコドライブのコツや走行パターン別のポイントなどをまとめており、従業員へ適切な情報提供を行っている。

さらに、コロナ禍で外部講師を招いての講習が実施できなかったため、自社で動画を作成、各事業所に視聴してもらうことで、継続してエコドライブ教育を実施。

エコドライブ教育を最大限工夫することで、短期間で高い活動レベルを実現。



セーフティ&エコドライブNews

### 燃費管理

評価ポイント

燃費改善に向けた徹底的なデータ活用

### 社内システムを活用した燃費管理・燃費分析

車両ごとに日々の走行距離と給油量を運転日報に記録。燃費データを社内システムで管理し、車両ごとの月間燃費などを一目でわかるように保管している。さらに、このデータをもとにエコドライブの進捗資料を毎月作成し、拠点ごとの燃費改善率も算出。

燃費データを徹底的に分析することで今後の改善に役立てている。

さらに、四半期に1度エコ安全ドライブ報告書を作成し、社内に活動の成果を報告することでエコドライブ意識の維持を図っている。



エコドライブ進捗資料・  
エコ安全ドライブ報告







## 株式会社エコワスプラント

所在地：東京都西多摩郡日の出町平井22-10  
 業務内容：産業廃棄物中間処理業・収集運搬業  
 拠点数：2  
 従業員数：82名  
 車両数：43台  
 活動実績：10年



### トップダウンからボトムアップへ活動体制が整い、全社で取り組むエコドライブ活動

環境方針を部署ごとで策定し、全社で積極的なエコドライブ活動を推進。また、ドライバー教育にも力を入れており、組織として燃費改善への意識向上を図っている。  
 毎年取組の見直しを回り、ボトムアップによる新しい取組を採用することで、継続的なエコドライブ活動の発展・進化をこれからも続けていく。

### エコドライブ活動の成果

2020年度比  
**5%燃費向上**  
 (貨物中型車)  
**事故件数14件削減**

### 従業員からの声

従業員が一丸となりエコドライブ活動に努めてきた結果、環境大臣賞を受賞することができました。  
 今後とも榮譽ある賞に恥じぬようエコドライブ活動を推進してまいります。

## エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	全体取組	部門別エコドライブ活動宣言を策定、企業全体の取組体制として実施	車庫内エコドライブ推進リーダーを配置し活動の推進
	体制・目標		燃費改善10%計
教育の実施	点検・整備	法定点検に加え社内独自点検の実施、管理費・日曜などを作成し活用	車庫に配置した「車庫人」の育成に向けた研修、展示物の展示
	環境知識		燃費改善10%計
燃費管理	教育資料	独自のドライバーマニュアルを作成し全ドライバーに配布・指導	燃費改善10%計
	教育実施	入社後の一週間の研修を経た後、再研修や改善指導を実施	燃費改善10%計
燃費向上	燃費管理	日報データを運行管理課がデータ入力し車種別に燃費集計	燃費改善10%計
	燃費目標		燃費改善10%計
活動成果	燃費向上		燃費改善10%計
	事故管理	事故件数の減少、事故的な結果として削減された保険料の還元実施	燃費改善10%計
活動実績と方策	対外活動	自社HPにてエコドライブ活動の取組を掲載	燃費改善10%計
	活動実績	・2013年より活動開始	燃費改善10%計
エコカー等	エコカー等		燃費改善10%計
	独自工夫	・「チャレンジ無事故180日」など参加型のイベントを開催 ・白成蔵の「見える化」で事故の起る原因と競争意識や達成感を高める	燃費改善10%計

## エコドライブ活動 主な応用取組

### 取組体制の整備

評価ポイント

効率的な輸送を実現しCO2排出量を削減

### エコドライブ活動を通じた経営改善

今年度は前年度比で産業廃棄物の処理量は増加しているが、会社全体における車両の走行距離は減少、昨年より効率的な輸送を実現し、輸送重量あたりのCO2排出量を削減している。  
 また、関東圏では産業廃棄物の最終処分場がなく、広域輸送が必要になる際はフェリーや鉄道などによるモーダルシフトを実施。費用面では自社トラックで輸送した方が安い、CO2排出量削減の観点で取り組んでいる。



モーダルシフト

### 教育の実施

評価ポイント

業界団体に対する自社ノウハウの展開

### エコドライブビデオを作成し業界団体に提供

エコドライブ普及のため、自社制作のドライバーマニュアルを業界団体に提供。共通マニュアルとして全組合員に配布している。  
 また、同社の代表取締役社長が主体となってエコドライブビデオを作成し組合員に配布。全組合員でのエコドライブ活動コンクールへの参加も呼び掛けており、業界全体でエコドライブ活動を推進していく活動を実施。業界団体を通じて業界内へのエコドライブの普及を行っている。



建康ゼミ  
 産業物の過剰輸送と比重

エコドライブビデオ

### 燃費管理

評価ポイント

ドライバーに役割を与え主体性を引き出す工夫

### テレマティクスサービスを活用した効率的な改善の取組

テレマティクス機器を全車導入。急急動データを基にヒヤリハットの動画を検出し、乗務員会議で映像を視聴。また、テレマティクスサービスのエコドライブ点数が悪いドライバーが、トラックメーカー主催のエコドライブ講習に参加し、社内での改善リーダーとして研修内容を社内に展開。  
 さらに、危険な運転があったドライバーに対しては、ドライブレコーダーの該当シーンをチェックし指導している。



ドラレコ画像と分析結果

### 活動成果と評価

評価ポイント

活動によるコスト削減効果を活用したインセンティブ設計

### 削減した保険料金などをドライバーに還元

社員からの提案で車両管理システムを導入し、事故などの情報分析に活用し事故低減化を図っている。その効果もあり事故件数が減少。その副次的効果として保険料金も減少しており、削減された保険料を社員に還元している。  
 無駄な運行時間を削減したドライバーに対して削減分を燃費手当として支給。この手当の導入によりドライバーが効率的な運行ルートを自主的に考え無駄な走行を削減したうえ、事前に渋滞を回避するなどの工夫を行なうドライバーが増加した。







## ネットヨタ山形株式会社

所在地：山形県山形市東青田5丁目1-1  
業務内容：自動車販売業  
拠点数：13営業所  
従業員数：326人  
車両数：326台  
活動実績：9年



### 多数のイベント開催や会社全体に向けての情報発信で、より波及効果の高いエコドライブ活動

「チームネット」に属する全ての皆さまと一緒に、笑顔と幸せであり続ける」ため、その想いを掲げ全11店舗でエコドライブ活動を推進。対外向けのエコドライブ教室はこれまでに約500組の皆さまが参加。自社内の教育や周辺地域へのエコドライブの普及活動など、様々な取組を組み合わせることで活動の幅を拡大している。

#### エコドライブ活動の成果

2022年度比  
12%燃費向上  
(HV車)  
事故違反の減少

#### 受賞事業者の声

この度は「優秀賞」をいただき、誠にありがとうございます。弊社のネットセーフティ&エコドライブ教室の活動もお客様10年目を迎えることができました。今後の受賞を機に、これからもエコドライブ活動を推進してまいります。

## エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	全体取組	本社サポート本部と各店舗の環境マスター資格者(令和5年より環境炭素コミュニケーターに変更)を中心とした活動体制	CSR方針に基づき、全13店舗でエコドライブを推進
	体制・目標	毎月、店舗管理者や検査員がメンテナンス実施の状況を確認	CSR方針
教育の実施	環境啓蒙	・ショールームへの啓発ポスターの掲示 ・チラシ配布による啓蒙活動 ・エコドライブ10のすすめを活用	全県移動型の「内蔵コミュニケーション」を毎月実施
	教育資料		内蔵コミュニケーション
燃費管理	燃費管理	・エコドライブコンテストで燃費改善のモチベーションアップ	店舗内で燃費データを集約し指導・分析
	燃費目標		燃費・CO2削減
活動成果	燃費向上	・2022年度比 12%向上(HV2000cc以下)	事故・違反データを管理、店舗毎に事故・違反ともに減少
	事故管理		
継続実績と方策	対外活動	・企業、アカデミー、大学生、小学生向けの教室の開催を主催	ハイブリッド教室やエコドライブ先進店舗を模範
	活動実績	・2014年4月より活動開始	
エコカー等	エコカー等		
	独自工夫	・「ネット・エコドライブコンテスト」チームや個人で燃費などを競い合い、事故削減や燃費改善	

## エコドライブ活動 主な応用取組

### 取組体制の整備

評価ポイント

資格保有者を中心とした強固な活動体制

エコドライブなどの知識を習得した環境マスター  
(=環境炭素コミュニケーター)を各店に配備

各店に数名ずつ、地球温暖化や環境及びエコドライブに関する知識を習得した「環境マスター資格保有者(環境炭素コミュニケーター)」が在籍。本社サポート本部と各店舗の環境マスター資格保有者を中心に活動体制を構築。また、全社員がエコドライブの普及を通じて、お客さまとご家族、地域の皆さまに「町いちばんの私のお家のクルマやさん」として運転方法をアドバイスして役立て立つことを目的とし、同社のエコドライブ活動の中心である「ネットセーフティ&エコドライブ」を実践。



営業スタッフが使用するチラシより

### 教育の実施

評価ポイント

全社で朝礼時にセーフティ&エコドライブ教育を実施

### 一人ひとりのセーフティ&エコドライブのノウハウを全社員に共有

毎朝、全店舗にて朝礼当番が「セーフティ&エコドライブ」について、みんなの前で自分自身の運転の振り返りや運転した際に気づいた点を話し、周りにアドバイスしてもらっている。結果、一人ひとりの当事者意識を高め、参加者全員で情報を共有している。また、全社員がエコドライブ講習を受講することで、エコドライブの知識や習慣を根付かせている。新入社員が入社した際には、同様の講習をその都度開催しドライバー教育を徹底。



ネットエコドライブ講習会

### 活動成果

評価ポイント

先進安全機能の体験で、輪を広げた環境保全活動を実施

### 約500組に及ぶ顧客に向けたエコドライブ教室の開催

2015年から「ネット・セーフティ&エコドライブ教室」を全11店舗で開催し、延べ499組の方が参加。新型車両の試乗や先進安全機能の体験、燃費計活用方法の伝授などイベントを通じてエコドライブを普及。近年は燃費改善だけでなく「セーフティ(安全運転)」の内容を組み合わせることで活動の幅を拡大。

2017年からは取引先や役所、地元サッカークラブなどにも対象を増やして実施している。さらに、今まで販売業務に注力していた休日にもイベントを開催することで若年層参加率向上を実現。



地元サッカークラブでの開催風景

### 活動成果

評価ポイント

カテゴリーを排気量毎に3に分け、HEV車部門も実施

### 店舗や個人で燃費などを競い合いモチベーションをアップ

店舗や個人で燃費などを競い合う「ネット・エコドライブコンテスト」を実施。カテゴリー毎に排気量で3部門に分け、HEV車部門も実施。各部門ごとに毎月の平均燃費・最高燃費のランキングでポイントが獲得でき、各カテゴリーの年間王者を表彰。同社では個別の燃費目標などは設定しておらず、燃費ランキングで上位を目指すことが各ドライバーのモチベーション維持につながっている。



ネット・エコドライブコンテスト表彰式



公益財団法人  
交通エコロジー・モビリティ財団  
Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation





## シスメックス株式会社

所在地：兵庫県神戸市中央区臨海通1丁目5番1号  
 業務内容：臨床検査機器、検査用試薬ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出  
 拠点数：25  
 従業員数：3,148名  
 車両数：385台  
 活動実績：4年



### エコドライブ推進やリース会社のサービスを活用した効果的なエコドライブ活動

本社環境活動計画に社用車燃費目標を明記し、会社全体の取組としてエコドライブ活動を実施。リース会社と協力してテレマティクスサービスを活用し、効果的なドライバー教育を実施。

また、推進担当者が**優秀事例を全社に共有するためインタビューを実施**するなど、エコドライブ活動がレベルアップする工夫も実施している。

### エコドライブ活動の成果

2018年度比  
**2%燃費向上**  
**(ハイブリッド車両  
 2000cc以下)**  
**事故件数55%削減**  
**(すべての事故)**

### 受賞事業者の声

今回は大変栄誉ある「優秀賞」をいただき、誠にありがとうございます。これまでの弊社の取組が評価され、大変嬉しく思います。また、弊社では「シスメックスエコビジョン2033」を達成するためにエコドライブに加え、様々な環境に関する取組を進め、今後も続けてまいります。

## エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	全体取組	エコドライブに関する項目を設定して全社展開
	体制・目標 活動計画を立て四半期ごとに進捗を管理 点検・改善 点検の漏れがないようリース会社と協力して仕組みを構築	ふんわりアクセル 加速の少ない運転 早めのアクセル
教育の実施	環境啓蒙	テレマティクスサービスの活用によるエコドライブの啓蒙
	教育資料 リース会社から提供される資料も教育に活用	テレマティクスサービスの活用によるエコドライブの啓蒙
活動成果	燃費管理	燃料使用量の削減及び燃費改善目標を設定
	燃費目標 燃費管理 本社管理者が燃費記録を管理	燃費目標
活動成果	燃費向上	「ふんわりアクセル」を徹底して全車へ普及
	事故管理 事故の要因と対策をテレマティクスフィードバックに合わせて発信	ふんわりアクセル やさしい運転実証中
継続実績と方策	活動実績	2025年を目途に、社用車の全車ハイブリッド車へ移行
	エコカー等 活動実績 2018年度より活動開始	ハイブリッド車
継続実績と方策	エコカー等	テレマティクス運行データの分析結果をフィードバック
	独自工夫 テレマティクス運行データの分析結果をフィードバック	

## エコドライブ活動 主な応用取組



### 教育の実施



リースを有効活用しエコドライブを効果的に実施

### テレマティクスサービスデータを活用した継続的なエコドライブ活動

エコドライブ活動ではリース会社より導入したテレマティクスサービスを活用。テレマティクスサービスデータを本社管理者が毎月分析し、ドライバーへフィードバックを実施している。

また、自社内で実施するエコドライブ講習では総務部が作成したものだけでなく、リース会社が提供するエコドライブや安全運転の教育資料を活用するなど、社外のリソースを有効に活用しながら効果的にエコドライブ活動を行っている。



テレマティクス機器を導入



### 教育の実施



映像を活用した納得感のあるドライバー指導

### エコドライブ支援機器を有効に活用した安全指導を実施

テレマティクスサービスによるドライバーの運転評価を各拠点の安全運転管理者に毎月フィードバック。さらに、危険挙動が検知された場合は、各安全運転管理者がドライブレコーダーの映像を用いてドライバーに個別にヒアリングと改善のための指導を行っている。単に危険挙動の検知数について指摘するのではなく、ドライバーにとって納得感のある教育を実施することで急加速などの危険運転を削減している。



映像を活用した教育



### 活動成果



好事例の共有とモチベーションのアップを同時に実施

### インタビューを実施し優良事業所の事例を全社に共有

事業所ごとの傾向分析にもテレマティクスサービスのデータを活用。分析の結果、ドライバーの運転評価が高い事業所は事故も少ないことが分かったため、成績が良い事業所にインタビューを実施した。エコドライブ活動でメンバーのモチベーションを維持する秘訣や、無事故を維持する注意点などのヒアリングを行い優良事業所として全社に紹介。さらに、ドライバーの表彰も実施することで好事例の共有とモチベーションのアップを同時に行っている。



優良事業所の事例紹介



### 継続実績と方策



CO2排出量を削減するための会社としての工夫

### ドライバーにアイドリングをさせない工夫

営業訪問の際に移動先の車内で業務を行う社員が多く、アイドリング時間が多いという実態が調査で判明したため、シェアオフィスを導入。移動先でも業務ができるように、無駄なアイドリングが発生しないように工夫した。

単にアイドリング時間を減らすよう指導するのではなく、会社としてアイドリング時間が減らせるよう、どのような取組ができるか考え実行に移している。



シェアオフィスを活用



公益財団法人  
**交通エコロジー・モビリティ財団**  
 Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation





## 株式会社利根川産業

所在地：東京都足立区入谷8-3-8  
業務内容：廃棄物処理業  
拠点数：1  
従業員数：109名  
車両数：27台  
活動実績：13年



### 収集運搬システムや業務支援ツールの活用による効率的なエコドライブと安全運転

2011年よりエコドライブ活動を開始し、業務支援ツールを活用することで業務の効率化や従業員のコミュニケーションを円滑に取る工夫を凝らす。  
GPS搭載タブレットの収集運搬システムにて走行軌道の可視化をすることで、効率的なルートの選択が可能となり、移動時間の短縮と燃料消費の最適化を図る。  
今年は「エコドライブ＝安全」をテーマとし、安全運転を意識することでエコドライブが自然と身につく、環境と安全の両面での成果が見られた。

### エコドライブ活動の成果

2014年度比

5%燃費向上  
(全車)  
事故件数-  
(保険適応)

### 受賞事業者の声

この度は環境大臣賞という栄誉ある賞をいただき、大変光栄に思っています。エコドライブの取組は、燃費向上やCO<sub>2</sub>削減だけでなく、安全運転の意識向上にもつながる大切な活動です。この受賞を励みに、これからも省エネルギー、環境保護と交通安全に貢献できる企業を目指して努力を続けてまいります。

## エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	全体取組	・年間平均燃費3%向上・重大事故0運動・車両修繕費削減を柱に活動	バカー一車と乗客それぞれの乗降チェック表を作成、kintone内アプリで管理
	体制・目標	・業務部 収集運搬部門が推進組織として活動	
教育の実施	点検・整備		LINEWORKSにてドライバーへ研修動画を通知
	環境問題	・エンジンストップポスターを洗濯場に掲示	
活動成果	教育資料	・エコドライブ10のすすめなどを教育資料として配布	前年実績も含めてkintoneにて閲覧・管理
	教育実施		
継続実施と方策	燃費管理	・燃費管理責任者を定め、車両燃費基準を設定	2011年度比で、5.2%向上
	燃費目標		
	燃費向上		社内表彰制度(エコドライブランキング)を導入
	事故管理	・kintoneにて、事故推移・発生事故内容・金額などを管理	
	対外活動		エコカー等
	活動実績	・2011年より活動開始	
	エコカー等	・デジタルタコグラフを使用	独自工夫
	独自工夫		

## エコドライブ活動 主な応用取組

### 取組体制の整備

評価ポイント

社員のモチベーション向上を促す社内イベントの開催

### エコドライブランキングの実施

CO<sub>2</sub>排出量を減らす目的で始められた「環境にやさしい運転」を競う社内イベントでは、6か月間にわたり燃費データを集計し、成績が優秀な上位3名には褒賞金と賞状、環境保護を象徴するステッカーが授与される。このイベントは、社員による日常の運転習慣の改善を促すとともに、エコドライブの重要性を浸透させることで、企業全体の環境保全意識を高める効果がある。参加者は、CO<sub>2</sub>排出の削減だけでなく、燃料消費の効率化にも貢献し、持続可能な運輸業務の実現に向けた実践的なステップを踏んでいる。



エコドライブランキング

### 活動成果

評価ポイント

走行ルートの最適化による消費燃料の最適化

### 収集運搬システムの活用による行動の最適化

GPS搭載タブレットを用いた収集運搬システムを導入し、走行軌跡の可視化とルートの最適化を行っている。このシステムにより、運転ルートが効率化され、無駄な走行が削減されることで燃料消費が最適化されている。結果として、運送業務の効率が向上し、環境への負担も軽減されている。この取組は、持続可能な運輸活動を支援し、コスト削減と環境保全の両方に貢献している。



GPS走行軌跡データ

### 教育の実施

評価ポイント

業務支援ツールの活用による効率的なコミュニケーション

### ビジネスチャットツールを活用した社員への情報共有とフィードバックを実施

全従業員を一同に集めることが困難であるため、LINE WORKSを活用して運転指導などの個別対応を行っている。また、kintoneを用いて、指導履歴や情報共有内容などをクラウド上で管理し、各人への伝達に欠漏することを防止。業務支援ツールの導入により、コミュニケーションの効率化と情報共有の精度が向上し、業務効率も大きく改善されている。これによって、遠隔地にいる従業員も含め全員がタイムリーに情報を得られる体制が確立されている。



LINE WORKS

### 教育の実施

評価ポイント

実例を活用した教育と継続的な学びの提供

### 専門家からの事故解説

事故発生後に再発防止面談を実施。また、安全教育の一環として毎月実際の事故映像が専門家によって解説され、社員に配信されている。この生きた教材を用いることで、社員は事故の具体的な状況と危険性を深く理解し、安全意識の向上に努めている。実際の事例を通じて得られる洞察は、事故の再発を防ぐための重要な手段となっている。



事故再発防止動画



## 審査委員長特別賞・優秀賞受賞事業者のエコドライブ支援機器・サービス紹介



### 沖縄トヨタ自動車株式会社

所在地：沖縄県浦添市勢理客4-18-1

業務内容：サービス業

拠点数：26店舗

従業員数：969名

車両数：924台

活動実績：12年



### エコドライブ活動の全国への波及と継続的な取組

2011年のエコ宣言をきっかけに、2012年よりエコドライブ活動をスタート。交通事故防止とカーボンニュートラルの達成で沖縄の社会課題解決に貢献することを目指し、エコドライブ活動に取り組む。

社内だけでなく社外にも波及性の高いエコドライブ活動を積極的に実施。さらに、以前から開催していたエコドライブコンテストを九州地区の販売店まで拡大させ、エコドライブを県内だけでなく全国へ広げている。

#### エコドライブ活動の成果

2022年度比

53.8%燃費向上

(全車)

事故件数43%削減  
(保険適用)

#### 受賞事業者の声

この度は栄誉ある賞をいただき大変光栄に思っております。従業員とお客様がともにエコドライブを励み、安全で快適なドライブを過ごしていただきたいと思います。継続することが大事だと考えておりますので、今後もエコドライブ活動を推進してまいります。

## エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	全体取組	グループの全社員大会にて、社長よりエコドライブ活動の重要性を発信
	体制・目標	
教育の実施	点検・整備	・社用車・店舗管理車両については、法定定期点検を実施
	課題・問題	・車と地球環境問題に関する資料を作成し、新人研修などで活用
燃費管理	教育資料	・毎月エコドライブに関する資料を開発し、各部署ごとに従業員への周知
	教育実施	
活動成果	燃費管理	・燃費王サイトを活用し、各個人のデータを情報本部にて一括管理
	燃費目標	
継続実施と方策	燃費向上	・2022年度比で53.8%燃費が向上
	事故管理	・2022年度比で43%削減
活動実績	対外活動	
	活動実績	・2012年より活動開始
エコカー等	エコカー等	
	独自工夫	・エコドライブ活動の周知のため、エコドライブ強化月間を毎年実施

推進責任者(社長)を中心に各部署長を通じて全社員での活動を推進し、社内の交通安全を促進する



毎年の新人社員研修での参加者名簿や教育資料をデータにて保存



各個人の車両ごとに目標燃費を設定



2023年10月実施の「エコドライブコンテスト」で燃費王を獲得した車両の表彰状



社用車/社用車の約6割以上はHEV車・PHEV車・BEV車を採用



## エコドライブ活動 主な応用取組

### 取組体制の整備

評価ポイント

手軽に燃費を登録できる環境づくり

### 燃費王サイトとLINEを活用した燃費管理

社内における燃費管理の効率化を図るため、燃費王サイトを活用。このサイトとLINE公式アカウントを連携させることで、従業員の入力および管理の手間をできる限り省くことができ、継続しやすい取組を実現。



燃費王サイト

### 取組体制の整備

評価ポイント

毎月エコドライブを意識させる工夫

### 全社員向けのエコドライブテーマの発信

毎月、全社員に向けてエコドライブに関する資料を展開。  
継続的なエコドライブの情報提供により、全社員の意識向上に寄与している。  
さらに、エコドライブの意識を高めるために、エコドライブ強化月間を設定し、意識向上に努めている。



エコドライブ資料

## 燃費王 ～FUN TO ECO DRIVE～

### エコドライブを通じて行う社会貢献活動

企業と連携して、エコドライブ活動を実施。  
活動を通じて貯めたポイントを県内のこども食堂などへ寄付できる「スマイルリスプロジェクト」を展開。  
その他、お客さまと社員の貯めたポイントを活用し、メッシュサポート(ドクターヘリ)や交通遺児育成会などへ寄付活動を行っている。  
このような社会的意義のある活動が、社員のエコドライブに対するモチベーションに良い影響を与えている。



スマイルリスプロジェクト

### 燃費王決定戦の地域拡大

2011年から沖縄県内で開催していた燃費王決定戦を全国へエコドライブを広げるため、2023年に燃費王決定戦九州沖縄大会を開催。九州から25チームが参加。

九州のトヨタ販売店に「交通事故防止」「カーボンニュートラルへの貢献」を訴求し、エコドライブ活動を全国へ拡大させる第一歩となった。



燃費王決定戦 九州沖縄大会



公益財団法人  
交通エコロジー・モビリティ財団  
Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation





## さいたま市役所

所在地：埼玉県さいたま市浦和区岸壁6-4-4  
業務内容：行政機関  
拠点数：15  
従業員数：16,315名  
車両数：707台  
活動実績：16年



### 庁内外にエコドライブを波及させる堅実な活動

市役所が主体となって地域のエコドライブを推進。公用車へのエコカーの導入や燃費改善を積極的に行う他、職員への教育やマイカーでのエコドライブ推奨など、庁内の体制を整える。公的機関である強みを生かし、イベントへの出展やセミナーの主催など、市内にとどまらず市外・県外を巻き込んだ活動を行っている。

#### エコドライブ活動の成果

2006年度比  
26%燃費向上  
(HV車2000CC以下)  
事故件数40%削減  
(重大事故)

#### 受賞事業者の声

本市の長年の取組が「優秀賞」に輝いたこと、ありがとうございます。今回の受賞は今後の活動の大きな励みとなります。環境負荷の低減や交通安全のため、今後も地球に優しい運転「エコドライブ」の実践、普及啓発に努めます。

## エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	全体取組	・職員の率先行動として「エコドライブ取組方針」に基づきエコドライブを実施	エコドライブ活動の成果
	体制・目標	・公用車運用の手引きを定め、公用車を使用するごとに日常点検表により点検を実施	
教育の実施	環境問題	・スマイルドライビングニュースでエコドライブ啓発	エコドライブ実践教育で職員の意識化を図る
	教育資料	・エコドライブ取組方針・実施要領を定め、職員に周知	
燃費管理	燃費管理	・エコドライブ取組方針に基づき、2025年度末までに走行距離あたりのCO <sub>2</sub> 排出量2006年度比35%削減を掲げる	活動実績と方策
	燃費向上	・2006年度比26% 向上(HV2000cc以下)	
活動成果	事故管理	・イベント出展やセミナーの主催で市民や事業者への啓発を実施	エコドライブ活動の成果
	活動実績	・2008年にエコドライブ取組方針を策定し、エコドライブの全庁的な取り組みを開始	
継続実施と方策	エコカー等	・電気自動車普及促進「E-KIZUNA Project」に取り組み、公用車を新規に導入する際は原則として次世代自動車としている	エコドライブ活動の成果
	独自工夫	・エコドライブ取組方針に基づき、2025年度末までに走行距離あたりのCO <sub>2</sub> 排出量2006年度比35%削減を掲げる	

## エコドライブ活動 主な応用取組

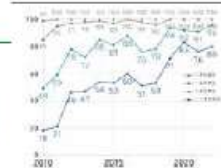
### 取組体制の整備

評価ポイント

エコドライブの地盤を堅実に固める

### 公用車の運転をエコドライブに

市役所全体でエコドライブを推進し、緊急車両を除くすべての公用車の走行実績と燃費消費量を把握。また、職員の「エコドライブ10のすすめ」全項目の実施率100%達成を目指している。職員向けにはエコドライブ教育も実施しており、持続可能な運転習慣を目指す。



エコドライブ10のすすめ実施率

### 教育の実施

評価ポイント

公的機関の強みを生かした情報発信

### 市民と共に進めるエコドライブ活動

市内のイベントに積極的に出展し、訪れた市民にシミュレーターを使ったエコドライブを体験してもらうことで、エコドライブの輪を広げる。また、児童と共にエコドライブの啓発を実施し、世代を超えて環境問題に対する意識の向上を図る。



イベントでの啓発

### 継続実績と方策

評価ポイント

九都県市での連携や情報の収集

### 県を跨ぐエコドライブの啓発

九都県市で広域的に大気汚染対策に取り組むため大気保全専門部会を設置し、エコドライブを推進。エコドライブ活動コンクール大臣賞受賞者を講師に招いた九都県市エコドライブセミナーを開催することで、埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県の実践者に啓発を行う。



九都県市エコドライブセミナー

### 継続実績と方策

評価ポイント

定期的なエコドライブの意識づけ

### 庁内での徹底した意識醸成

毎月22日を独自に「エコドライブの日」と定め、職員向けにエコドライブを啓発する機関紙を発行。他にも庁内電子掲示板での啓発やのぼり旗の設置を行う。また、オリジナルグッズとしてステッカーやキーホルダーを展開・配布しており、より身近なものとしてエコドライブ活動を啓発している。



キーホルダーの配布



# 実践方法



# エコドライブ 活動コンクール



2025年度



**国土交通大臣賞**



**環境大臣賞**

参加費用  
無料

事業部門	トラック、バス、タクシーなどの運送事業者
一般部門	移動などの業務上で車両を使用している事業者
支援ビジネス・ユニーク部門	メーカー等の企業によるエコドライブを支援する機器やサービス 運輸事業部門での脱炭素（カーボンニュートラル）に向けた実施策など さまざまな主体が実施するエコドライブに関する独自の取り組み

応募期間 5/8\* ~ 7/8\*

主催 公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団

■後援  
「エコドライブ普及連絡会」  
（警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省）  
「エコドライブ普及推進協議会」  
（一社）日本環境車協会、（一社）日本自動車工業会、  
（一社）日本自動車リース協会連合会、（公社）日本バス協会、  
（一社）日本自動車連盟、（公社）全日本トラック協会、  
（一社）全日本自動車販売協会連合会、（一社）全日本タクシー協会、  
（一社）全日本バス協会、（一社）日本自動車販売協会連合会、  
（一社）日本中古自動車販売協会連合会、  
（一社）全国個人タクシー協会、（一社）全国レンタカー協会、  
（一社）環境優良車普及機構、（一社）日本自動車運行管理協会、  
（公財）交通エコロジー・モビリティ財団

ECO DRIVER.  
これからの、マナー。



## 概要

主 催	公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団																
後 援	「エコドライブ普及連絡会」（警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省） 「エコドライブ普及推進協議会」 （一社）日本損害保険協会、（一社）日本自動車工業会、（一社）日本自動車リース協会連合会、（公社）日本バス協会、（一社）日本自動車連盟、（公社）全日本トラック協会、（一社）全日本自動車販売協会連合会、（一社）全国ハイヤー・タクシー協会、（一社）日本自動車整備協会連合会、（一社）日本中古自動車販売協会連合会、（一社）全国個人タクシー協会、（一社）全国レンタカー協会、（一社）環境優良車普及機構、（一社）日本自動車運行管理協会、（公財）交通エコロジー・モビリティ財団																
スケジュール	① 応募期間：2025年5月8日（木）～7月8日（火） ② 表 彰 式：2025年11月下旬に開催予定の「2025年度エコドライブシンポジウム」の会場で 国土交通大臣賞、環境大臣賞、審査委員長特別賞、優秀賞を表彰。																
募 集 対 象	<table><tr><td>事業部門（主に黒ナンバー）</td><td>自社の車両を保有（リースを含む）するトラック、バス、タクシーなどの運輸事業者。</td></tr><tr><td>一般部門（主に白ナンバー）</td><td>移動などの業務上で車両を使用している事業者。自社の製品等を運搬している場合を含む。</td></tr><tr><td>支援ビジネス・ユニーク部門</td><td>メーカー等の企業によるエコドライブを支援する機器やサービス。 運輸事業部門での脱炭素（カーボンニュートラル）に向けた実施策など。 （例 荷主や輸送事業者における非化石エネルギーへの転換に向けた取組みなど） さまざまな主体が実施するエコドライブに関する独自の取組み。 （例 SDGs とコラボレーションしたエコドライブの取組みなど）</td></tr></table>	事業部門（主に黒ナンバー）	自社の車両を保有（リースを含む）するトラック、バス、タクシーなどの運輸事業者。	一般部門（主に白ナンバー）	移動などの業務上で車両を使用している事業者。自社の製品等を運搬している場合を含む。	支援ビジネス・ユニーク部門	メーカー等の企業によるエコドライブを支援する機器やサービス。 運輸事業部門での脱炭素（カーボンニュートラル）に向けた実施策など。 （例 荷主や輸送事業者における非化石エネルギーへの転換に向けた取組みなど） さまざまな主体が実施するエコドライブに関する独自の取組み。 （例 SDGs とコラボレーションしたエコドライブの取組みなど）										
事業部門（主に黒ナンバー）	自社の車両を保有（リースを含む）するトラック、バス、タクシーなどの運輸事業者。																
一般部門（主に白ナンバー）	移動などの業務上で車両を使用している事業者。自社の製品等を運搬している場合を含む。																
支援ビジネス・ユニーク部門	メーカー等の企業によるエコドライブを支援する機器やサービス。 運輸事業部門での脱炭素（カーボンニュートラル）に向けた実施策など。 （例 荷主や輸送事業者における非化石エネルギーへの転換に向けた取組みなど） さまざまな主体が実施するエコドライブに関する独自の取組み。 （例 SDGs とコラボレーションしたエコドライブの取組みなど）																
表 彰	<table><tr><td>● 国土交通大臣賞</td><td>【事業部門】</td><td>1 件</td><td>賞状及び記念品</td></tr><tr><td>● 環境大臣賞</td><td>【一般部門】</td><td>1 件</td><td>賞状及び記念品</td></tr><tr><td>● 審査委員長特別賞</td><td>【支援ビジネス・ユニーク部門】</td><td>数件</td><td>賞状及び記念品</td></tr><tr><td>● 優 秀 賞</td><td>【事業部門 / 一般部門】</td><td>6 件程度</td><td>賞状及び記念品</td></tr></table> <p>※一定レベル以上の活動をしていると評価された場合は、「優秀認定証」「優良賞」「優良認定証」を授与してきます。継続しての応募を歓迎いたします。 ※大臣賞を受賞した事業者は、その後の 3 回のコンクールでは受賞できません。優秀賞の場合はその後の 2 回のコンクールでより上位の賞でなければ受賞できません。</p>	● 国土交通大臣賞	【事業部門】	1 件	賞状及び記念品	● 環境大臣賞	【一般部門】	1 件	賞状及び記念品	● 審査委員長特別賞	【支援ビジネス・ユニーク部門】	数件	賞状及び記念品	● 優 秀 賞	【事業部門 / 一般部門】	6 件程度	賞状及び記念品
● 国土交通大臣賞	【事業部門】	1 件	賞状及び記念品														
● 環境大臣賞	【一般部門】	1 件	賞状及び記念品														
● 審査委員長特別賞	【支援ビジネス・ユニーク部門】	数件	賞状及び記念品														
● 優 秀 賞	【事業部門 / 一般部門】	6 件程度	賞状及び記念品														
参 加 費 用	無 料																

応募や募集要項の詳細はホームページにて公開中！

エコドライブ活動コンクールへの参加はホームページより受付中です。  
本コンクールについてのお知らせ、募集対象、審査項目、応募の流れについても掲載しておりますので、ぜひ一度ご確認ください。



アクセスはこちら



PCやタブレットの場合  
QRコードを読み込むことで  
アクセスできます

パソコンの場合は「エコドライブ活動コンクール」で  
検索することでアクセスできます

<URL>  
[https://www.ecodriveactivity.com/concours\\_jp/](https://www.ecodriveactivity.com/concours_jp/)

問い合わせ先

株式会社アスア  
（事務局に業務委託先）

〒453-0804 愛知県名古屋市中村区黄金一丁目11番地 アスアビル  
TEL：052-452-6886（平日10:00-17:00） Mail：eco-drive@asua.ne.jp



公益財団法人  
交通エコロジー・モビリティ財団  
Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation

## はじめに

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団は、1997年に設立された「エコドライブ普及推進協議会」(運輸関係等16団体で構成)の事務局を務めるとともに、独自に様々なエコドライブを普及推進するための活動を行っています。この活動の一環として、2011年度から「エコドライブ活動コンクール」を開催して優れた取組を行っている事業者を表彰し、その取組内容を紹介することでエコドライブの更なる普及や運輸事業部門の脱炭素化を図っています。

## 今年のコンクールについて

今年度は、事業部門、一般部門、支援ビジネス・ユニーク部門の3部門で実施いたします。また、最も優れた取組に対して、事業部門では国土交通大臣賞、一般部門では環境大臣賞が授与されます。運輸事業者はもちろんのこと、一般企業からNPO・任意団体・グループなどの幅広い参加をお待ちしております。

事業部門(主に緑ナンバー)	自社の車両を保有(リースを含む)するトラック、バス、タクシーなどの運輸事業者。
一般部門(主に白ナンバー)	移動などの業務上で車両を使用している事業者、自社の製品等を運搬している場合を含む。
支援ビジネス・ユニーク部門	メーカー等の企業によるエコドライブを支援する機器やサービス、運輸事業部門での脱炭素(カーボンニュートラル)に向けた実施策など。 (例 荷主や輸送事業者における非化石エネルギーへの転換に向けた取組みなど) さまざまな主体が実施するエコドライブに関する独自の取組み。 (例 SDGsとコラボレーションしたエコドライブの取組みなど) ※事業部門や一般部門との重複応募も可能です。 ※詳しくは事務局までお問い合わせください。

## 参加メリットは?

社内の  
意識向上・活性化  
につながります

エコドライブ推進の  
支援ツール  
が手に入ります

自社の活動レベルを  
客観的に評価  
できます

参考となる他社の  
優秀な取組事例  
が手に入ります

## 審査の基準は?

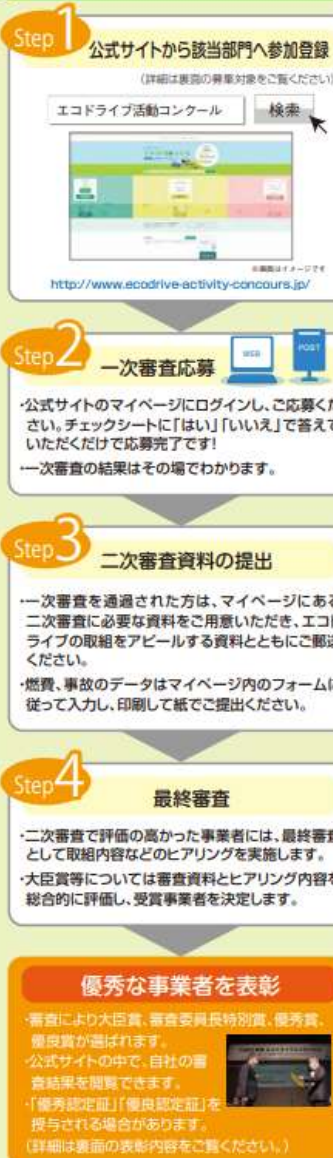
本コンクールの事業部門と一般部門では、燃費の改善状況だけを審査するものではなく、事業者のエコドライブ活動の取組内容を幅広い観点から審査します。

1. 取組体制の整備	どのような社内体制(方針、目標、管理体制など)で活動を行っているか。
2. 教育の実施	従業員にどのようなエコドライブの教育・指導を行っているか。
3. 燃費管理	どのような仕組みで燃費データを収集・管理しているか。
4. 活動成果	どの程度の燃費向上を達成しているか。 燃費以外の副次的効果とエコドライブ活動に対する評価をどのように行っているか。
5. 継続実績と方策	エコドライブ活動を継続するため、どのような取組を実践しているか。

※事業部門と一般部門では、継続して参加する事業者を推奨しています。そのため同点の場合は、継続して参加する事業者を優先して評価します。

※支援ビジネス・ユニーク部門は上記の審査基準によらず、エコドライブに関する特徴的な取り組みを評価します。

## コンクールの流れは?



## エコドライブ推進のための支援ツールは?

### 各種ツールを活用して活動を盛り上げましょう

エコ財団で作成したエコドライブステッカー(130円/枚)、エコドライブテキスト(トラック版、乗用車版、各200円/冊)、「エコドライブ10のすすめ」チラシ・リーフレット・ポスター(無料)、コンクールリーフレット(電子データ)、優秀取組事例集(電子データ)、参加登録証明書(電子データ)、燃費管理支援サイトなどを用意しています。



エコドライブステッカー  
(130円/枚)



▲トラック版のエコドライブテキスト  
(200円/冊)



▲乗用車版のエコドライブテキスト  
(200円/冊)



▲エコドライブ10のすすめのチラシ・リーフレット  
(無料)



▲エコドライブ10のすすめのポスター  
(無料)



▲コンクールリーフレット  
(電子データのみで提供)



▲優秀取組事例集  
(電子データのみで提供)



▲コンクール参加登録証明書  
(電子データのみで提供)



▲燃費管理支援サイトMyCar  
(無料/別途登録必要)

### 表彰された事業者の取組を紹介いたします。

コンクール応募企業の中から優秀な取組を行なっている事業者を表彰し、優秀事業者の取組内容を公式サイトで公表します。

#### 優秀取組事例集

<https://www.ecodrive-activity-concours.jp/data/jirei2022.pdf>





2025年度

## エコドライブシンポジウム



2025年11月27日 木 13:30~16:05 (開場13:00)

場所: 全ト協ホール 東京都新宿区四谷三丁目2-5 全日本トラック総合会館3階  
四ツ谷三丁目駅より徒歩3分 (<https://ta.or.jp/map.html>)

定員: 100名

## 概要

## ◆ 2025年度エコドライブ活動コンクール表彰式

国土交通大臣賞、環境大臣賞、審査委員長特別賞、優秀賞等の表彰をおこないます。

国土交通大臣賞	花王ロジスティクス株式会社 石狩LC
環境大臣賞	沖縄トヨタ自動車株式会社
審査委員長特別賞	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 eMotion Fleet株式会社

## ◆ エコドライブの取組紹介

国土交通大臣賞、環境大臣賞を受賞した事業者の取組発表に続き、支援ビジネス・ユニーク部門で審査委員長特別賞を受賞した企業からも発表をいただきます。

## WEB配信

## ◆ 後日、エコモ財団YouTubeチャンネルにてシンポジウム開催動画を掲載予定!

(最新の情報はエコドライブ活動コンクール公式サイトにて随時お知らせします)

エコモ財団  
YouTubeチャンネル

## お申込

QRコード  
よりQRコードを読み込み、  
必要情報を入力の上、お申し込みください。お申し込み  
締切

2025年11月21日(金)

※お申込受付につきましては、(株)新東通運に委託して実施しております。  
(添付資料「申込書」に記載された同社の個人情報の取扱いについてご確認の上、お申し込みください。)

主催 エコドライブ普及推進協議会 / 公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

2025年度

## エコドライブシンポジウム

日時: 2025年11月27日(木)  
13:30~16:05 (開場13:00)場所: 全ト協ホール  
東京都新宿区四谷三丁目2-5  
全日本トラック総合会館3階  
四ツ谷三丁目駅より徒歩3分

## プログラム(予定)

## 1. 開会挨拶

- ・公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
- ・国土交通省
- ・環境省

## 2. 2025年度エコドライブ活動コンクール表彰式

- ・国土交通大臣賞、環境大臣賞、審査委員長特別賞、優秀賞等の受賞
- ・審査委員長講評

## 3. エコドライブの取組紹介

- ①「2025年度エコドライブ活動コンクール 国土交通大臣賞受賞事業者の取組」  
花王ロジスティクス株式会社 石狩LC
- ②「2025年度エコドライブ活動コンクール 環境大臣賞受賞事業者の取組」  
沖縄トヨタ自動車株式会社
- ③「2025年度エコドライブ活動コンクール 審査委員長特別賞の製品・サービス」  
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社  
eMotion Fleet株式会社

※上記は、現時点での予定です。発表者・内容等は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

## 【お問い合わせ先】

エコドライブシンポジウム運営事務局 株式会社新東通信 TEL.03-3538-8011

担当: 高橋・普根・諏訪 eco-drive@jimukyoku-st.jp

主催者連絡先 / (公財) 交通エコロジー・モビリティ財団 担当: 熊井・西川 TEL.03-5844-6276

公益財団法人  
交通エコロジー・モビリティ財団  
Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation



# エコドライブ支援ツール



## 株式会社渡辺精工社・株式会社トワード「Eco-SAM」

株式会社渡辺精工社  
所在地：東京都大田区田園調布本町57-4  
業務内容：器材・工具類販売、各種製品の販売、ICTシステム販売・構築・展開・運用 など

株式会社トワード  
所在地：佐賀県神埼郡吉野ヶ里町三津166-13  
業務内容：一般貨物自動車運送事業、情報システム開発販売業 など



### エコドライブ活動を支援する製品・サービスの概要

渡辺精工社が販売するEco-SAMは、トワードが開発した波状運転指数という独自のロジックでドライバーのエコドライブの実施度合いを評価することができるサービス。導入事業者数が約1,500社で、搭載車両数は約30,000台の販売実績があり、車載器はシガーソケットから電源を取るだけで使える手軽さから、運送事業者だけでなく様々な業態の事業者採用されている。

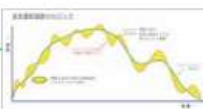
#### 受賞事業者の声

私どもは、「Eco-SAM」でセーフティ・エコドライブの文化を創り、地球環境貢献と交通事故削減に全力で取り組むことを使命とし日々活動しております。今後もより一層推進し、広くお客様に普及させていただきたいと考えております。

### エコドライブの実施度合いを数値化する波状運転指数

波状運転指数はGPSより取得した車両の速度データから、エコドライブにおける理想的な速度変化との乖離を解析することで、無駄な加速や減速によるエネルギーロスを測定。波状運転指数は丁寧な発進や加減速の少ない運転、早めのアクセルオフなどで評価が高くなり、運転の滑らかさを数値化することによってエコドライブの実施度合いを評価している。

急発進や急ブレーキなどの発生で評価をするイベント検知型ではないため、運転をしている全ての時間でエコドライブの実施度合いを数値化することが可能。波状運転指数を意識した運転をすることでエコドライブ技術の向上などにつながる事ができる。



波状運転指数のイメージ



エコドライブ計測器 Eco-SAM

### 導入ハードルが低いシステム

車両のシガーソケットから電源をとるだけで使用できるEco-SAMは、ハードウェアの取り付けが簡単で比較的価格も安いため導入のハードルが低い。また、トラックやバスだけでなく一般的な乗用車にも導入できることから、運輸事業者や廃棄物処理事業者の他にも商社やメーカーといった一般事業者にも多く採用されている。

### 渡辺精工社によるEco-SAMの燃費改善効果調査

渡辺精工社が行った調査では、波状運転指数の評価が1段階良くなると2.4%ほどの燃費改善効果があるという結果になった。また、Eco-SAMを導入している顧客事業者の燃費データを独自に分析したところ、平均で13.6%の燃費改善が見込めるという調査結果となった。

Eco-SAMを導入している事業者からは燃費改善だけでなく、安全運転やタクシーであれば乗り心地の改善にもEco-SAMの波状運転指数が活用できるという声も上がっている。

項目	改善前	改善後	改善率
燃費	10.0%	11.4%	13.6%
CO2排出量	10.0%	8.6%	13.6%
燃費	10.0%	11.4%	13.6%
CO2排出量	10.0%	8.6%	13.6%
燃費	10.0%	11.4%	13.6%
CO2排出量	10.0%	8.6%	13.6%
燃費	10.0%	11.4%	13.6%
CO2排出量	10.0%	8.6%	13.6%

渡辺精工社による調査結果



## 株式会社DATAFLUCT「becoz drive」

所在地：東京都渋谷区道玄坂一丁目19番9号  
第一ビル6階  
業務内容：データプラットフォーム構築・運用支援事業、DX推進支援・運用支援事業、サステナブルデータビジネス事業



企業の車両運行によるCO2排出量可視化・削減支援サービス

### エコドライブ活動を支援する商品・サービスの概要

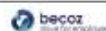
「becoz drive」は、企業の社用車や自家用車通勤シーンにおけるCO2排出量可視化・削減支援サービス。パイオニア株式会社と協業し、車の燃費/電力消費率を推定・予測するPiomatix for Greenの提供を受け、蓄積データによる渋滞回避のための情報レコメンドが可能。

#### 受賞事業者の声

自動車通勤へのデータ活用は、脱炭素の実現に大きく貢献できると信じています。こうした思いで開発した「becoz drive」が今更なる実用性を追求できたことは、大変光栄です。今後も開発を進め、より多くの方に役立つサービスを目指します。

### 渋滞回避への行動変容を促すアプリ

アプリを使用することにより渋滞回避=エコドライブ(アイドリング時間の削減)を実現する行動変容を促す。アプリからの渋滞回避の提案に応じた場合、渋滞回避を実行しようとした努力に対してポイントなどのインセンティブを付与。さらに、実際に渋滞回避を達成した場合にもインセンティブを付与しアプリ利用者の行動変容を促している。また、渋滞や混雑時間を回避する提案で、従業員に対する働き方改革の糸口になることも期待している。



### 低い導入ハードルで普及しやすいサービス



専用アプリをインストールするだけで使える！

車両側への専用デバイスの設置が不要で専用アプリをインストールするだけですぐ使えることから、スマートフォンだけで導入が可能。社用車だけでなく自家用車でも気軽に利用することができる。

地方ではマイカー利用者が多いことや、日本では車通勤率も高いことから自家用車の通勤時における渋滞回避=エコドライブを実現することで、CO2排出量の削減という社会課題の解決を目指している。

### 働き方改革などCO2排出量削減だけでなくメリット

アプリを活用し渋滞回避をすることで通勤時間やガソリン代削減などの効果が見込め、エコドライブによるCO2排出量削減以外のメリットを従業員に対して与えることができる。

また、CO2排出量を算出する機能もあり、アプリを利用するだけでCO2排出量のおおよその把握ができ、どのようにCO2排出量を削減していくかの計画立案に役立てることも可能。



# エコドライブ講習



<https://www.fine-motorschool.co.jp/>

## エコドライブ講習登録団体〔乗用車〕（京都府）

京 都 府	0057	<a href="#">山城自動車教習所</a>	〒610-0301 京都府綴喜郡井手町多賀西北河原49	(TEL) 0774-82-2165 (FAX) 0774-82-5251	H21.6.26
	0082	<a href="#">きんき安全自動車学校</a>	〒615-0056 京都府京都市右京区西院西貝川町72	(TEL) 075-872-1881 (FAX) 075-872-1892	H21.11.10
	0240	<a href="#">京都府峰山自動車学校</a>	〒627-0004 京都府京丹後市峰山町荒山738	(TEL) 0772-62-0637 (FAX) 0772-62-6585	H26.7.28





# エコドライブテキスト



[https://www.ecomo.or.jp/environment/ecodrive/ecodrive\\_text\\_private.html](https://www.ecomo.or.jp/environment/ecodrive/ecodrive_text_private.html)



[https://www.ecomo.or.jp/environment/ecodrive/ecodrive\\_text\\_truck.html](https://www.ecomo.or.jp/environment/ecodrive/ecodrive_text_truck.html)

# エコドライブ動画（アニメ） 日本自動車工業会



[https://www.jama.or.jp/operation/ecology/eco-drive/eco\\_drive/index.html](https://www.jama.or.jp/operation/ecology/eco-drive/eco_drive/index.html)



公益財団法人  
交通エコロジー・モビリティ財団  
Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation

**ご清聴ありがとうございました**